

土とみどりを守る会

<1998～2018> 20年の歩み

土・まち・みどり通信 第70号
20周年記念特集 2018.3.3

NPO 法人 土とみどりを守る会

おかげさまで、土とみどりを守る会は、創立20年を迎えました。

創立以来、会ではさまざまな取り組みを行ってきました。

この特集ではこれまでの会の活動を振り返り、主なものをご紹介します。

これからも、皆で楽しく無理なくできる活動に取り組んでいきたいと思えます。

どうか、これからもよろしくお願いいたします。

土とみどりを守る会 代表理事 堀内正弘



会のはじまり

奥沢のあたりは、宅地内の豊かな緑によって落ち着いた住環境が保たれています。しかし、時代の移り変わりとともに、長い間培われてきた街並みから緑が失われつつあります。そこで、この環境を次世代に継承していくために、住む人の手で守り育てていこう、という考えが生まれてきました。

土とみどりを守る会は、故 柳島尚子と堀内正弘ほかの5名ほどの奥沢2丁目のご近所付き合いの輪から始まりました。1998年度の「世田谷まちづくりファンド」に応募したところ採択され、助成金により活動が軌道に乗りました。

4年間のファンド助成の終了後、会員制に移行し、2008年にNPO法人となりました。様々な活動とおしたお付き合いの輪は少しずつ拡がり、奥沢2丁目以外のコアメンバーも増えてきました。（正会員数：2018年1月で約230名）

チェリーセージ

2000年にシンボルフラワーを募集し、香りがよく、赤い可愛い花で四季咲きのチェリーセージに決定しました。有志の手で差し芽から育て、苗やプランターを無料配布して、緑豊かな奥沢の街並みに、アクセントとなる彩りを添えています。



地域風景資産の登録

世田谷区風景づくり条例にもとづく地域風景資産の主旨に賛同し、第1回から第3回まで、応募、登録の支援をしました。あまり一般に知られていなかった「奥沢海軍村」は、この選定がきっかけで訪問者が増え、また、選定区域内に作られたコインパーキングの看板の撤去を指導する根拠となりました。

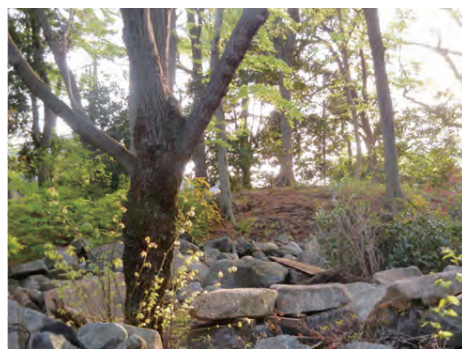
「大ケヤキ
のある
散歩道」
2002年



「奥沢海軍村
ゆかりの
風景」
2008年



「鷲草伝説
ゆかりの
奥沢城址
ある風景」
2013年



つどいの開催 (年4回 + まち歩き)

土・まち・みどりの発行 (年4回)

空き地を使った「苗の交換会」の開催が、会の最初の取り組みでした。住みやすい住環境づくりの一環としてこのような共通の関心で地域の方が集まる場として、年4回のつどいを開催しています。会のニュースレター「土・まち・みどり」は地域の日頃の話題を主に取りあげます。2000年から年4回発行し、奥沢2丁目を中心に配布しています。



奥沢グリーンマップの制作

地域の歴史やみどりなどを住民の手で取材してまとめた地図です。「景観木」や「街並み選奨」を選びました。2003年に制作をはじめ、2006年に世田谷「コミュニティ活性化支援事業」の助成を受けて発行しました。ふだん通る道からちょっと足を伸ばし、お散歩するガイドとして好評です。

何回もの街歩きを実施して取材をし、取材結果を集計して協議を行い、掲載するスポットを選定しました。

このマップで導入したテーマが「景観木」と「街並み選奨」です。選定されたものには所有者の許可をいただき、マップに掲載するとともに、プレートを設置しました。樹名板は、世田谷トラスト協会（当時）の協力を得て設置しました。



奥沢グリーンマップについて

奥沢グリーンマップは、奥沢2丁目を中心とした地域を、住民の手で取材してまとめた地図です。地域の歴史やみどりなどを住民の手で取材してまとめた地図です。2003年に制作をはじめ、2006年に世田谷「コミュニティ活性化支援事業」の助成を受けて発行しました。ふだん通る道からちょっと足を伸ばし、お散歩するガイドとして好評です。

制作にあたっては、奥沢2丁目を中心とした地域を、住民の手で取材してまとめた地図です。地域の歴史やみどりなどを住民の手で取材してまとめた地図です。2003年に制作をはじめ、2006年に世田谷「コミュニティ活性化支援事業」の助成を受けて発行しました。ふだん通る道からちょっと足を伸ばし、お散歩するガイドとして好評です。

制作にあたっては、奥沢2丁目を中心とした地域を、住民の手で取材してまとめた地図です。地域の歴史やみどりなどを住民の手で取材してまとめた地図です。2003年に制作をはじめ、2006年に世田谷「コミュニティ活性化支援事業」の助成を受けて発行しました。ふだん通る道からちょっと足を伸ばし、お散歩するガイドとして好評です。

かいわい宣言

地域風景資産の登録が契機となり、世田谷区風景づくり条例に基づく「かいわい宣言」として、「奥沢・土とみどりの街づくり宣言」を2004年に登録しました。

同時に、土とみどりを守る会は、同条例に基づく「風景づくり活動団体」として世田谷区に登録されました。

奥沢・土とみどりの街づくり宣言

宣言の目標：

「緑豊かな街並みを維持し、心安らぐ街
にしていくための住環境づくり」

宣言によって生ずる活動の内容：

1. 街並みの調和を大切に、街の歴史を刻む建物など、語り継がれていく風景を皆で守る。そのためには、住まいと街をつなぐものとしての建物の外壁、塀や柵、擁壁などのしつらえの方法や素材選びなどのアイデアを共有してゆく活動を進める。
2. 街並みに寄与している樹木を推奨し、周囲の住民の理解を得て、その保全に努め、新改築時に既存の樹木や生け垣を残す他、壁面緑化などの工夫を通じて、生活空間を豊かにしてゆくための活動を進める。
3. 季節の花がある楽しい街並みづくりや、文化活動を通じてご近所づきあいを活性化し、地域のコミュニケーションを深める活動を進める。

平成16年3月

(世田谷区 風景づくり条例に基づく かいわい宣言)

地域の落ち葉掃き

2010年に世田谷区「地域の絆再生事業」の助成を受け、落ち葉掃きの活動が始まりました。奥沢交和会、奥沢小学校とも連携し、毎年落ち葉の多い時期に実施しています。



みどりの街づくりガイド

地域の事例を紹介し、かいわい宣言の具体を伝えるために、多くの方のご協力、ご参加をいただいて作られた小冊子です。2017年世田谷区「地域の絆ネットワーク支援」の助成を受けて発行しました。ここでは、その内容の一部をご紹介します。

景観木



景観木とは、街の目印となっていて、良好な風景と環境の創造に貢献している木です。会では、敷地の道路際にある景観木の保全を推奨しています。

奥沢2丁目には「奥沢海軍村ゆかりの風景」として世田谷地域風景資産に登録された、昭和初期の住宅が残っています。

それらに共通するのは住宅のスケールになじんで一体感の感じられる緑の配置、自然を感じさせる素材と色彩、そして通りからの見え方を意識した風景づくりです。

このようなエッセンスを新しい建築にも活かしていきたいものです。

奥沢の
古い家
に学ぶ



敷地に余裕が無いと高木での緑化はできないので、つる性植物で広がる緑化、道路脇のちょっとした隙間の土を活かした植栽など、あまり広い土地がなくてもできる緑化を推奨します。

花や実のなる植物は、季節の変化の感じられる風景を生みだします。

季節感

のある街に





開かれた庭

立体的な緑のゲート

ここで言う「開かれた庭」とは、通りから見える緑を増やすような、様々な工夫のことです。必ずしも高木にこだわる必要はありません。

奥沢地区は公園が少ないのに「緑が豊かだ」と言われます。それは古い家のみならず、新しい家、そして集合住宅の多くが、通りから見える緑を配しているからです。

このガイドで紹介している事例は、全て奥沢地区にあるものです。家を建てる時、あるいは改装する時に、このような工夫をすることで、緑豊かな街並みを次の世代に伝えていきたいものです。



植樹で分節された塀



道路に沿った植樹帯



「和」を感じる玄関前の緑

カーポート

の緑化

透水性ブロックによる舗装面の緑化、植栽の計画、屋上の緑化がトータルに計画されています。



プランター

で緑化

縁台のようなしつらえに置かれた、丁寧に手入れされたプランターには「和」のたたずまいが感じられます。



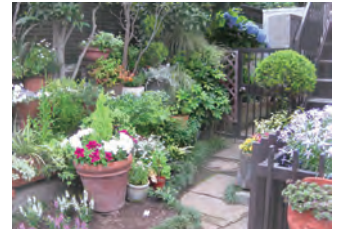
みどりの街づくりガイドは、奥沢交和会の掲示板、地域のお店、土とみどりを守る会の事務局などで無料配布しています。事務局から郵送することも可能ですので、お問い合わせください。



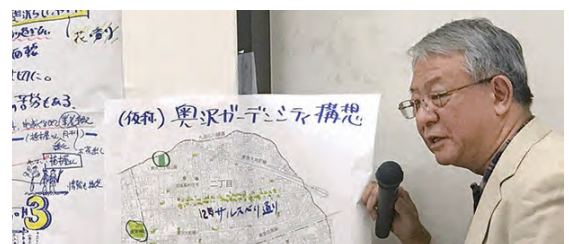
課題とこれからの取り組み

この20年で、奥沢の街並みは大きく変化しました。緑豊かで風情のある古いお宅が建て替えられてしまうことがあります。相続の問題もあり、建て替えを避けるのは困難なことです。土地は更地になり、樹木はまとめて伐採されてしまいます。周辺の街並みになじまない家が建てられることもあります。

みどりの街づくりガイドで提案された「開かれた庭」という考え方には、多くのご賛同をいただきました。これは植木鉢ひとつから、だれでもがすぐに取り組めるテーマです。これは古い家から学び、新しい街並みづくりに活かすことのできるテーマです。奥沢には、そのお手本となる地域風景資産に選定された家があります。



奥沢地区は公園が少ないですが、「開かれた庭」がどんどんつながれば、まち全体が公園になります。緑は維持が大変です。そこで、落ち葉掃き以外にも、ご近所と一緒に植木屋さんに手入れを依頼する、といった展開もあるでしょう。これは先日、世田谷区が開催した街づくり意見交換会のグループのひとつから「奥沢ガーデンシティ構想」(仮称)として生まれたアイデアです。



土とみどりを守る会では、毎月第1土曜日の午前10時から正午まで、事務局で定例会を開いています。ここでは、活動の準備のほか、みどりや環境など、様々な話題が交わされます。どなたでもご参加いただけますので、当会の取り組みにご興味をお持ちの方、あるいはみどりに関わる相談事のある方は、お気軽にお越しください。

NPO 法人 土とみどりを守る会

東京都世田谷区奥沢 2-32-11 電話：03-6421-2118

HP：http://tsuchimidori.net mail：info@tsuchimidori.net